

太田昌国=著

ボリビア・ウカマウ映画伴走50年

3年半に亘るラテンアメリカへの旅の記憶と記録を振り返り、ウカマウ映画集団との50年に及ぶ協働の成果の記録。日本に帰ってからは民族・植民地問題の第一線を常にリードし、次世代への羅針盤となっている太田昌国の書きおろし。

目次

第一部 ラテンアメリカ編（1973年～1976年）

- (1) エクアドルでの、奇跡のような出会い
- (2) ペルーでウカマウの周辺を彷徨う
- (3) 八年前、チェ・ゲバラが死んだボリビアで
- (4) 白人国＝アルゼンチンでウカマウの映画に見入る人びと
- (5) 軍事政権下のチリで
- (6) コロンビアとメキシコで、ウカマウと再会する
- (7) 「映像による帝国主義論」の試み

第二部 日本編（1980年～2025年）

- (8) 『第一の敵』の自主上映を開始する
- (9) 同時代に起きたニカラグア革命に示唆を得て
- (10) 『第一の敵』は大きな反響を呼び起こした
- (11) 旧作を次々と輸入・公開する
- (12) 自主上映とともに出版にも取り組み始める
- (13) 来日したボリビア人のウカマウ映画批判と対話して
- (14) ウカマウから共同制作が提案された
- (15) 国の内外で民族・植民地問題が迫り上がる一九九〇年代
- (16) ホルヘ・サンヒネス監督が来日する
- (17) ペアトリス・パラシオスの客死
- (18) ボリビアに先住民大統領が誕生した
- (19) 多様化する上映会の形
- (20) 軍政下の韓国のドキュメンタリストとウカマウ

あとがき

巻末資料

ウカマウ集団フィルムグラフィー

現代企画室刊行【ラテンアメリカ／イベリア半島関連書籍】分布地図

ボリビア・
ウカマウ

映画伴走
50年

藤田印刷エクセレントブックス

太田昌国

太田昌国（おおた まさくに）

1943年釧路市生まれ。

1968年東京外国語大学ロシア語科卒。1973～76年にかけてラテンアメリカ各地を旅する。帰国後「シネマテーク・インディアス」を主宰し、ボリビアの映画集団ウカマウの全作品上映や一部作品の共同制作を実現する。1980年代半ばから現代企画室の編集者として、第三世界の歴史・思想・文学、世界と日本の民族問題、フランス現代思想などに関連する書籍の企画・編集を多数手がける。また執筆・講演などを通じて幅広く意見を発表し続けている。著書、翻訳書多数。



貴店番線

発行：藤田印刷エクセレントブックス TEL0154-22-4165 FAX0154-22-2546

月
日

ボリビア・ウカマウ映画伴走50年

太田昌国 著

冊

定価3520円(税込) ISBN 978-4-86538-177-1 C0076 ¥3200E

2025年4月26日 第1刷発行

判型 四六判・並製本

グラビア16頁・本文320頁

発行所 藤田印刷エクセレントブックス

ご注文はJRCへ FAX03-3294-2177まで